

● 環境省からのお知らせ ●

2021.5.23『福島、その先の環境へ。』対話フォーラム レポート

環境省では、福島県内除去土壌等の県外最終処分の実現に向け、減容・再生利用の必要性・安全性等に関する全国での理解醸成活動を強化する取組みとして、5月23日(日)に東京での『福島、その先の環境へ。』対話フォーラムをオンライン開催しました。

当日は、参加者からリアルタイムでも質問を受け付け、理解醸成の進め方や再生利用の安全性、風評被害への対応といった質問について登壇者から回答いただき、自分事として福島の課題を捉えることの重要性などについて議論がありました。今後も、全国各地で対話集会の開催を予定しています。

『福島、その先の環境へ。』ホームページでは、今回の対話フォーラムのレポートを掲載しています。福島県での環境再生事業と今後の課題に関するプレゼンテーションやパネルディスカッションなどをご覧くださいことができます。

また、「福島、その先の環境へ。」Youtubeチャンネルでも当日の様子を動画でご覧いただくことができます。是非ご覧ください。



対話フォーラム レポート
こちらから



当日の様子はこれから
(Youtubeチャンネル)



「福島環境再生 10年のあゆみ」をWEB公開しました

環境省では、これまでの環境再生事業の10年を振り返り、どのような結果をもたらしているか、また、環境省の施策分野において、福島の復興に貢献する取組みがどのように進められているのかについてご紹介するため、本パンフレットを作成しました。

復興への道のりは、道半ばであり、いまだ多くの課題があります。環境省は、引き続き、あらゆる関係者とともに福島のその先の環境づくりを進めてまいります。



環境省の情報発信拠点

● 中間貯蔵工事情報センター



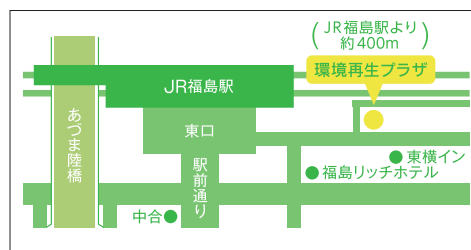
■所在地 福島県双葉郡大熊町
大字小入野字向畑 256
■開館時間 10:00 ~ 16:00
■休館日 日曜日・月曜日、年末年始
(月曜日が祝日の場合は翌平日)
■電話番号 0240-25-8377
中間貯蔵施設工事について紹介しています。
毎月、中間貯蔵施設見学会(事前申込制)を開催しています。

● 特定廃棄物埋立情報館 リプルンふくしま



■所在地 福島県双葉郡富岡町
大字上郡山字太田 526-7
■開館時間 9:00 ~ 17:00
■休館日 月曜日、年末年始
(月曜日が祝日の場合は翌平日)
■電話番号 0240-23-7781
特定廃棄物の埋立処分事業について紹介しています。毎週末には参加型イベントや実験教室なども開催しています。

● 環境再生プラザ



■所在地 福島県福島市米町
1-31 1 階
■開館時間 10:00 ~ 17:00
■休館日 月曜日、年末年始
(月曜日が祝日の場合は翌平日)
■電話番号 024-529-5668
福島の環境再生への取り組みなどの情報を紹介しています。常駐している専門家による解説や相談などを行っています。

ふくしま 環境再生 Vol.18



飯舘村長泥地区環境再生事業エリア内再生資材一時置場において

「ふくしま環境再生」では、環境省が進める環境再生事業や地域活性化事業などの情報を定期的にお知らせします。



環境省 福島地方環境事務所

環境省では、飯舘村長泥地区の復興に向けた環境再生事業を進めています。放射能濃度が1kg(キログラム)あたり5,000Bq(ベクレル)以下の除去土壌を、異物除去などの工程を経て再生資材化し盛土します。その上に放射線を遮るための土をかぶせ、営農しやすい農地の盛土を造成します。今回は、水田の機能を確認するための試験についてご紹介します。



飯舘村長泥地区環境再生事業の見学会の募集について

長泥地区環境再生事業をより知っていただくことを目的に、長泥地区環境再生事業エリアを巡る約1時間半(集合場所からの往復時間を含め約2時間半)の現地見学会を実施しています。事前にお申込みのうえ、皆さま是非ご参加ください。

< 見学箇所(例) >

集中監視室

再生資材化ヤード

盛土実証ヤード

水田の機能を確認するための試験エリア

詳細

■実施予定日時

8月3日(火)、8月21日(土)、9月7日(火)、9月18日(土) 各日 13:30~16:00 (集合13:20)
※10月以降の予定については、随時専用ホームページにアップしていきます。

■集合・解散場所

いいたてスポーツ公園駐車場 ※村内の移動はマイクロバスになります。

■所要時間

約2時間半 (往復移動1時間、環境再生事業エリア1時間半)

■参加料金

無料 ※事前のお申込みが必要です。

※ご注意：本見学会は帰還困難区域に入域することになりますので、15歳未満の方や妊娠している方の見学はお控え下さい。

お申込み・お問合せ

■お申込み方法

詳細については、専用ホームページでご覧いただき、必要事項についてメール又は電話でお申込みください。

■連絡先

✉:johocenter@jesconet.co.jp ☎:0240-25-8377
中間貯蔵工事情報センター〈長泥地区環境再生事業見学会担当〉
設置:環境省 運営:中間貯蔵・環境安全事業株式会社(JESCO)

専用ホームページは、
こちらから

水田の機能を確認するための試験について

飯舘村からの要望を受け、再生資材の上に覆土し、水田の機能を確認するための試験を行っています。

ポイント

✓本試験は、水田として求められる機能を確認するための試験です。具体的には、盛土した土壌の透水性・排水性(暗渠排水等を設置して水はけがどうか)や地耐力(トラクター等が走行しても問題なく表層が保たれるか)を確認します。

✓稲の植付けから刈取りまで実施しますが、あくまで機械作業の評価のためです。

✓収穫物は、全量廃棄し、出荷はいたしません。

水田全景(ドローン撮影)

造成中

水張りの様子

代掻きの様子

Column コラム

インタビュー「自然豊かで美しいふるさと、私はその風景を取り戻したい」

環境再生事業が進む長泥地区。環境再生に向けた現状の感想や将来に向けた想いを伺いました。

喜一さん

ハウスでの花卉栽培から畑作、そして今回、水田での実証試験も始まった。少しずつだが震災前の長泥の風景が戻ってきたようで嬉しい。

良友さん

この実証事業が「長泥に住んでみたい、ここで農業をやってみたい」という目標になればいい。除去土壌の再生利用もそうだし、除染後の農地の基盤整備もそう。また、高齢化する全国の中山間地区の農業のモデルにもなるわけだから。だから私は長泥を「夢のふるさと、夢の国」と表現している。そんな希望のある土地をこころづくって全国に発信していきたい。

圭子さん

私は長泥に来て四半世紀、ここで生まれた夫より長泥に愛着があると思っています。自然豊かで美しいふるさと、私はその風景を取り戻したい。いま環境省や私たちで震災前の地区に再生しようと頑張っている姿を全国の人に見てもらいたい。そして将来は孫たちが気軽に遊びに来られる土地になってほしいと願っています。

今回の特集に関する
ご感想をお聞かせください。

✉:fukushima_dojosaisei@env.go.jp

飯舘村長泥地区における環境再生事業についての詳細は、中間貯蔵施設情報サイトをご覧ください。

飯舘村長泥地区 環境再生事業 検索